

みのEDO

発行：多治見市美濃焼タイル振興協議会

TEL 0572-43-2141

発信：多治見市・笠原町東京情報局

TEL 03-5225-6863

特集 モザイクアート 日本と世界の位相

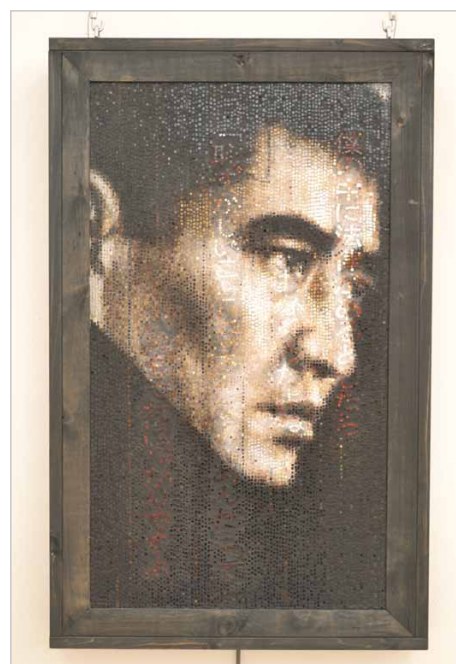
20 周年記念「海外招待作家展」との競演に見ごたえ モザイク会議“モザイク展 2015”を開催！



大賞 岩田英雅「タイルの街 遺跡Ⅰ 遺跡Ⅱ」大理石・ズマルト



三席 妙川幸子「不在」大理石・写真



二席 山本真平「貫く」ガラス・ステンドグラス

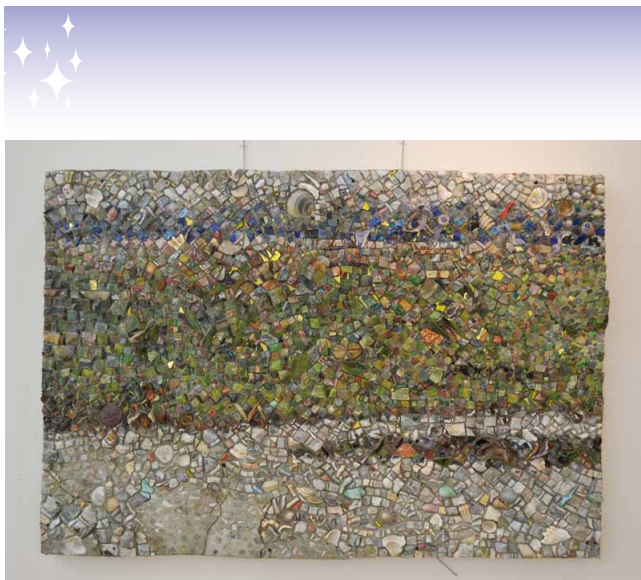
モザイクに関わる情報を国の内外から収集し、発信する情報センターとして活動する「モザイク会議」は、モザイクアートの普及と発展をめざすとともに、作家の研鑽の場を作ることを願って 1995 年に設立された。

その後、研修会や講習会を開き、作品発表の場としてモザイク展を開催してきた。設立 20 周年の節目を迎えた今年は、記念展として“モザイク展 2015”を横浜市青葉区の横浜市民ギャラリーあざみ野にて開催（9 月 15 日～27 日）。「海外招待作家作品展」を併催、国際的に活躍するトップレベルのモザイク作家 11 名の作品を展示し、現代アートシーンで存在感を示すモザイクアートの

一端を実作で知ることのできる貴重な機会となった。

日本の作家も世界の作家もベテランから若手まで、さまざまな形でモザイク制作に取り組んでいる現代モザイクシストたちの競演の場ともなり、それが図らずも、モザイクの置かれている彼我の位相（作品の質的な違い）を肌で感じられる場ともなった。

“モザイク展 2015”の国内出品作家は 37 人。今回は審査も趣向を変え、審査員として美術ジャーナリストの村田真氏を招聘し、村田氏が審査にあたった。大賞 1 点をはじめ、次の方々が各賞を受賞された。



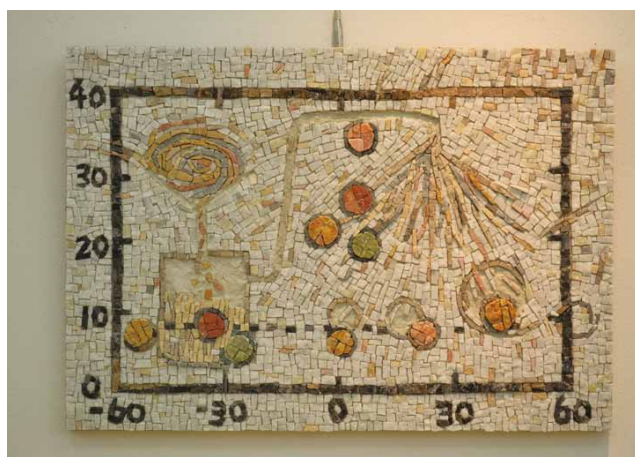
奨励賞 若月弓枝「Coexistence」大理石・ズマルト・磁器・砂岩・貝



奨励賞 櫻井真智子「野衾 (のぶすま)」大理石



佳作 宮内淳吉「青天ノ図」大理石



佳作 福原与恵「distance」大理石

- 大 賞 岩田英雅「タイルの街 遺跡Ⅰ 遺跡Ⅱ」大
- 二 席 山本真平「貫く」
- 三 席 妙川幸子「不在」
- 奨励賞 若月弓枝「Coexistence」
- 奨励賞 櫻井真智子「野衾 (のぶすま)」
- 佳 作 宮内淳吉「青天ノ図」
- 佳 作 福原与恵「distance」

ここでは、受賞作品を中心にモザイクアートの誌上展として“モザイク展 2015”をお送りするとともに、「海外招待作家展」の全作品をご紹介します。

モザイク会議とは？

モザイク会議はモザイクアートの普及、発展を目的としています。

歴史的に、大理石を用いたモザイクアートが盛んに作られたのは紀元前3世紀以降のことです。モザイクアートの最も古い作品は紀元前3000年ころの、シュメールの都市国家“ウルク”の神殿壁を飾っていたものです。

日本には明治以降紹介され、1960年代からは多くの建築物の壁や床にモザイク壁画が作られました。そして1994年にイタリアに本部のある国際現代モザイク作家協会主催のシンポジウムが鎌倉で開催されたのを機に、翌年、アーティスト達でモザイク会議が設立されました。以来モザイクアートの発展と普及を目指して展覧会や講習会を企画してきたほか、モザイクの情報センターとして、日本だけではなく、海外からのニュースを集めて、ニュースレターや会報を発行。今後も日本におけるモザイクアートの拠点としてさまざまな活動を展開していきます。(ホームページより)

■モザイク会議事務所

〒185-0012 東京都国分寺市本町 4-12-4 司アートシティ 104
Tel/Fax 042-362-4162 メール maa@maa-jp.com

議 長 情野良夫

年会費 12000円 入会金 10000円

入会資格 モザイクの愛好者であり、会の趣旨に賛同される方

年1回発行の会報「モザイク」、年6回発行のニュースレター「モザイク通信」など



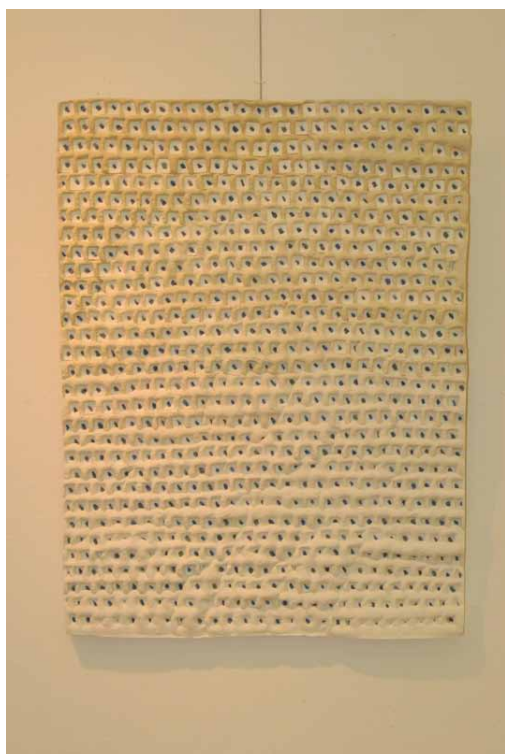
芦田いずみ「回遊魚の喜び」大理石



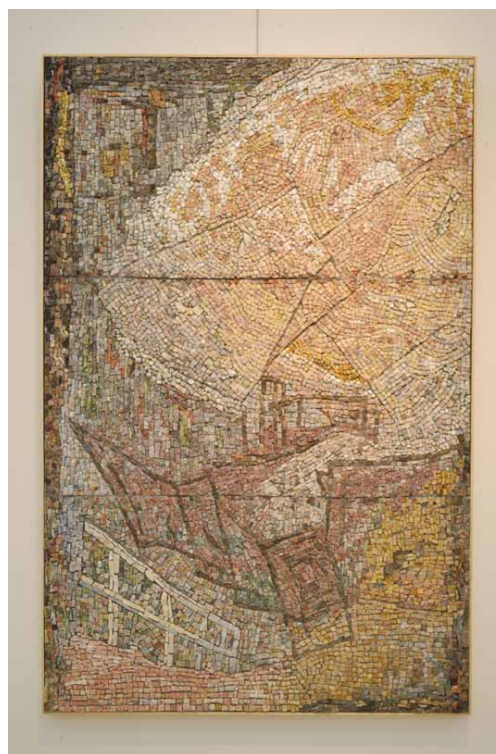
今野栄子「楽園(アドン)の小鳥」大理石・ズマルト



橋村元弘「戯れ」ズマルト



櫻井拓也「浸食したいね」ラビズラズリ



戸祭玲子「いつもそこにある」大理石・ガラス・タイル



張未怜「アルデバランの娘」石・ズマルト・ガラス・タイル・ビーズ



尾崎伸江「帽子山羊」大理石・ズマルト



三上群嗣「なぜ何もないのではなく 何かがあるのか」大理石



落合香木「あちらこちら」アートクラフトタイル



小田いくこ「風に舞え」大理石・ズマルト



中澤齋彦「ハイデルベルグ（ドイツ）」エコタイル・陶磁器タイル・焼成れんが



山口素子「ダンシングペイズリー」アートクラフトタイル



モザイク展 2015「海外招待作家展」の洗練と創意



カレン・アミ “口にできない” 大理石・ズマルト



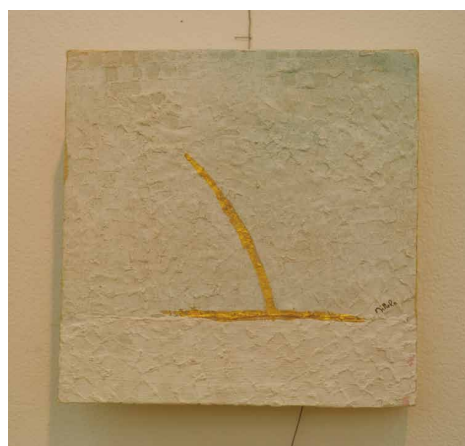
エマ・ビッグス “女流画家” セラミックの皿



パメラ・アーヴィング “Mr. 偶像破壊者”
金、銀ピース・磁器



ジュリオ・メノッシ “呼吸” ズマルト他



フェリーチェ・ニットロ “地中海” 布・フレスコ



ルカ・バルベリーニ “フリー ハグ” 大理石・ズマルト・モルタル

モザイクの都といわれるイタリア・ラヴェンナをはじめとして世界中に活躍するモザイク作家が存在し、世界各地でモザイク展が開催され、海外作家の交流も盛んに行なわれている。そんな活況を呈する世界のモザイクシーンと創意あふれるモザイク作家たちを紹介したい。——モザイク作家の喜井豊治さんが、そういう強い意欲を

もって現在、「タイルの本」誌に「世界のモザイク作家たち」を連載し、2015年9月号で15回を数えるが、そうした海外モザイク作家たちとの交流の中から今回の「海外招待作家展」には11人が登場し、作品を出品された。作家のプロフィールを紹介し、世界の作家たちの洗練と創意をお伝えしたい。



リン・チン “樂觀的に” 大理石・ズマルト・銀ピース



CaCO₃ “ムーブメント N.81” 金ピース・石灰石



デュガルド・マッキネス “捕獲岩” スレート



ヴェルディアーノ・マルツィ
“新幹線から見た夕焼け” ズマルト



マルコ・デ・ルカ “黄金色の山”
ズマルト・金ピース

■カレン・アミ Karen Ami /アメリカ・シカゴ在住

1995年シカゴアートインスティテュート卒業。2004年ベニス、オルソーニモザイク学校。2005年にシカゴモザイク学校設立。イタリアの伝統的なモザイク技法を紹介するために世界各地から作家を呼んで授業を行なう。自らの作品はエネルギーでちょっとセクシーなものが特徴。アメリカモザイク協会会長を2007～2010年まで務める。

■エマ・ビッグス Emma Biggs /イギリス

ご主人は評論家。ロンドンの画廊で個展を開催し、アメリカ、オーストラリアでワークショップを開く。国際的な展覧会での受賞歴も多く、発行したモザイクの技法書はロングセラーを続ける。1987年にロンドンに工房を開設。

■パメラ・アーヴィング Pamela Irving /オーストラリア

1960年オーストラリア、メルボルン生まれ。1982年からフルタイムのモザイク作家として活動を始めた。世界各地で個展を開催、海外交流も活発に行なっている。メルボルン遊園地の200㎡に及ぶオブジェの数々が最近の代表作。

■ジュリオ・メノッシ Giulio Menossi /イタリア

1955年生まれ。19歳で美術学校卒業後、ミラノのモザイク工房に勤務。80年代からは展覧会での発表を始めた。最近では世界各地に呼ばれてワークショップを開くなど、国際的に活動。

■ルカ・バルベリーニ Luca Barberini /イタリア

1981年ラヴェンナ生まれ。2000年ラヴェンナ国立モザイク学校を卒業。2005年モザイク工房「ココモザイク」を開設し、作品の制作、販売、ワークショップの開催を行っている。ラヴェンナ在住の若手注目株のひとり。

■フェリーチェ・ニットロ Felice Nittlo /イタリア

1950年イルピーナ市（イタリア南部）生まれ。ラヴェンナの美術アカデミアを卒業。画集の出版も多く、発言も頻繁で、現代のモザイク界で最も重要な作家のひとり。展覧会も日本を含めた世界各地で行なっている。ラヴェンナで唯一の画廊を経営しながら、モザイクの近代史を記録している。

■リン・チン Lynne Chinn /アメリカ

1982年コロラド美術学校を卒業。各地のモザイクワークショップを受講しながら、モザイク技法を習得。2008年オルソーニ賞ファイナリスト。毎年個展やワークショップを精力的に開催し、招待出品も増えてきた。ガラスの立体表現に独特の雰囲気をもつ。

■CaCO₃ シーエーシーオースリー/イタリア

2006年に結成されたイタリア・ラヴェンナ在住の三人組。細かいテッセラを規則的に突き刺しドラマチックな作品で有名。3人はともにラヴェンナでモザイクの修復技術を学び、ビザンティンモザイクの修復に携わった経緯がある。テッセラの使い方は革命的。高い評価を受ける。

■デュガルド・マッキネス Dugald MacInnes /イギリス

スコットランド生まれ。グラスゴーアートスクールを1975年に卒業、同校でモザイク作家に師事しモザイクを始める。卒業後、地質学の学位を取り、地学のイメージは作品の主要な発想源。スレートは自ら切り出し、スレート独特の雰囲気を生かした作品の評価は高い。

■ヴェルディアーノ・マルツィ Verdiano Marzi /サン・マリノ

1949年サンマリノ生まれ。ラヴェンナ、国立モザイク学校卒業。のちパリ近郊に移り、ルーブルのモザイク教室を20年務めた。ベネツィア・ビエンナーレに二度出品。ドラマチックな色とガラスの大胆な割り方が特徴的で現代モザイクに影響力の大きいひとり。

■マルコ・デ・ルカ Marco de Luca /イタリア

1949年ボローニャ近郊生まれ。ラヴェンナのモザイク学校を卒業のち1973年にボローニャの美術アカデミアを卒業。1976年から2002年までラヴェンナのモザイク学校で教鞭をとる。1980年代から絵画的イメージは姿を消し、ピースを並べるだけで空間的、時間的広がりを感じさせるスタイルが確立された。現代ヨーロッパで最も影響力の高いひとり。

展覧会案内

多治見モザイク小品展

「モザイク + α」(ぷらすあるふぁ) と併催「モザイクアブロード」

MOSAIC ART ASSOCIATION IN JAPAN
モザイク + α
併催:「モザイク・アブロード」海外モザイク作家作品展示

2015
10月1日(木)
→ 6日(火)
10:00→18:00
初日は13:00～、最終日は～16:00
※レセプションパーティ、3日(土)16:00～

LUCA BARBERINI
KAREN AMI
GIULIO XIENOSI
DUGALD MACINNES
CACO3
FELICE NITTILO
LYNNE CHINN
MARCO DE LUCA
PAMELA IRVING
VERDIANO MARZI
EMMA BIGGS

会場:多治見市文化工房
ギャラリーヴォイス
岐阜県多治見市本町5-9-1 たじみ創造館3F
tel.0572-23-9901 <http://g-voice.chu.jp/>

主催:モザイク会議 東京都国分寺市本町4-12-4 アートシティ104 <http://www.maa-jp.com/index.html>

協賛:名古屋モザイク工業株式会社

展覧会に関するお問合せ:tel.090-1262-9277(喜井)

ギャラリーヴォイスで開催される「モザイク + α」(10月1日～6日)はモザイク小品を集めた展覧会です。多治見では「モザイク」というとまずタイルを用いた作品を思い浮かれるかと思いますが、ヨーロッパのモザイクに影響を受けたモザイク作家たちは、それ以外に大理石やズマルト(モザイク用のガラス)も用いて作品を作っています。壁面装飾ではなく、絵画のように部屋の壁にかけて鑑賞するものです。

一方「モザイクアブロード」は国際的に活躍しているトップレベルのモザイク作家たち11名の作品を展示します。このレベルのモザイク小品を日本でまとめて見られるのは、初めてのことです。

主催:モザイク会議(モザイクの普及、発展に努める団体)

協賛:名古屋モザイク工業株式会社

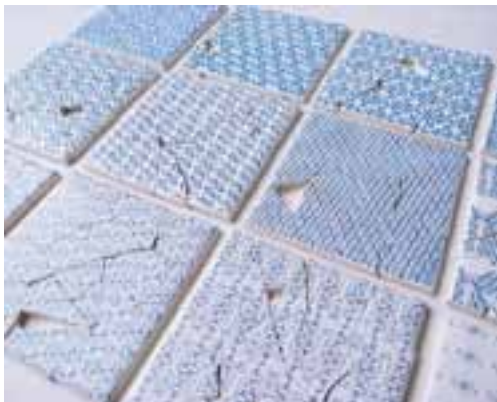
■中央自動車道 多治見ICより車で約10分
■JR多治見駅より徒歩約15分

会場:多治見市文化工房
ギャラリーヴォイス
岐阜県多治見市本町5-9-1 たじみ創造館3F
tel.0572-23-9901 <http://g-voice.chu.jp/>

モザイクタイルミュージアム開館プレ展示 Vol.3 10月17日ー11月8日

guse ars exhibition—washed pattern “TAJIMI”

～欠片から生まれる未来の模様～



《ctp 2014》(個人蔵) 部分 《ceramic tile posterity》タイルの抜け殻(個人蔵) 部分 《washed pattern》(個人蔵) と欠片

この度、多治見市モザイクタイルミュージアム開館プレ展示 Vol.3 として、アーティスト・ユニット「guse ars (グセ アルス)」を迎え、多治見市学習館との連携事業「guse ars exhibition—washed pattern “TAJIMI”」を開催します。

「guse ars」とは、これまで海や川を漂流してきた陶片をモチーフに、その陶片の柄を抽出し再構成することで新たな模様を作り出す作品を発表してきた2人組のアーティストです。今回は陶器の産地である多治見で集めた陶片を使って、この地域ならではの新しい模様を生みだします。

主催：多治見市学習館／多治見市役所産業観光課

協力：一般財団法人たじみ・笠原タイル館

会期：2015年10月17日(土)ー11月8日(日)

会場：多治見市学習館 オープンギャラリー (岐阜県多治見市豊岡町1丁目55/JR多治見駅南口より徒歩5分)

開館時間：9:00～21:00 休館日：月曜日(祝日を除く)

入場：無料

■ 問合せ：多治見市経済部産業観光課

岐阜県多治見市日ノ出町2-15 TEL 0572-22-1111 (内線1347)

<http://tmtm28.com>

(写真・左) 多治見市土岐川で収集した陶片

(写真・右) guse ars (グセ アルス) の2人



☆関連企画

ワークショップ「たじみのカケラでタイル模様をつくろう」

1回目＝陶片を拾って、標本を作る。(10月25日(日))

2回目＝標本にした陶片から自分だけの新しいタイル模様を作る。
(11月1日(日))

※詳細はコチラ→

<http://tmtm28.com/wp-content/uploads/2015/08/guse-04.pdf>

募集対象：

①小学生以上、大人だけでも可(ただし2年生以下は、必ず保護者と一緒に参加してください)

②2回とも参加できる方

参加者定員：20名／参加費：一人1,000円

受付開始：9月25日(金)9時

お申し込み方法：多治見市学習館(Tel 0572-23-7022)に電話で申し込み。

